

REPORT

## 『わっしょい百万踊り』

報告者 連携広報部 林田優美子

8月4日に開催された、わっしょい百万祭りの『百万踊り』に5年ぶりに参加しました！ 共和会・松寿会の職員とその家族併せて、約130人での参加となりました。

当日は真夏日で日中は茹だるような暑さでしたが、百万踊りが始まる頃には日が落ちて少し暑さも和らいだ中でのスタートでした。初めはみんな周りを伺いながら控えめに踊っていましたが、回数を重ねるごとにだんだん動きも大きくなり、一体感が出てきました。「わっしょいわっしょい」のかけ声もどんどん大きくなり最後はみんな笑顔で楽しそうに踊っていたのが印象的でした。

当法人には県外からきた職員も多く、このような地域のお祭りに参加することで北九州の街をより深く知ることができ、街への愛着が湧いてきます。ここで暮らす地域の方々と共に「その人らしい暮らし」を支える仕事ができていることを誇りに、これからも日々頑張っていきたいと感じました。

久しぶりに法人として百万踊りに参加することができ、素敵な夏の思い出となった1日でした！



### ◆当院へのアクセス

#### 🚆 JRの場合

「南小倉駅」(日豊本線・日田彦山線)より片野方面へ徒歩10分

#### 🚌 バスの場合

「木町二丁目」バス停(セブンイレブン前)より小倉南区方面へ徒歩10分

#### 🚗 都市高速の場合

「紫川IC」清水方面車線出口よりすぐ右側

カーナビでお越しの際は、

NAVI 北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1と入力してください。



## KR 医療法人 共和会

小倉リハビリテーション病院 / 介護老人保健施設 伸寿苑 / 共和会地域リハビリテーションセンター

TEL.093-581-0668 (代表) FAX.093-581-3319 (共通)

〒803-0861福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1 <http://www.kyouwakai.net> 共和会 検索

公式SNSで情報配信中!



facebook Instagram

Careline

KYOUWAKAI Press  
「ケアライン」2024 秋号 / 地域に根差した共和会のプロボノ活動

発行  
○ 発行  
医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 連携広報部 井上崇

# Careline

KYOUWAKAI Press ケアライン

2024

秋号

## 特集 地域に根差した共和会のプロボノ活動

REPORT 『わっしょい百万踊り』



今年の夏は全国的に猛暑が続きましたが、ここに来てようやく秋の気配を感じるようになりました。そしてこの10月は私達の生活において様々なことが変わってきました。まずは家計に負担がかかる食品の値上げが行われました。これは9月から徐々に始まっていますが、家庭用の飲食料品の値上げ品目が増加しています。また郵便料金の値上げも行われました。一方で最低賃金の値上げも行われ、児童手当は大幅に拡充されました。この月は身近なところで変化するタイミングとなったようです。

さてこうした中、機関紙ケアライン秋号では「地域に根差した共和会のプロボノ活動」と題し共和会地域活動について紹介しました。まだまだ制度が乏しかった時代から50年以上にわたり続けられているこれら法人活動についてご理解頂ければと思います。また、レポートではコロナ禍で参加中止となっていた「北九州市わっしょい百万踊り」への参加について報告をしています。私ども職員には市外、県外出身者も多く、こうした地域活動への参加は地元への愛着につながっていきます。ここではこの夏の思い出をレポートにしました。ご一読頂ければ幸いです。

令和6年10月 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 連携広報部 部長 井上崇

# 地域に根差した共和会のプロボノ活動

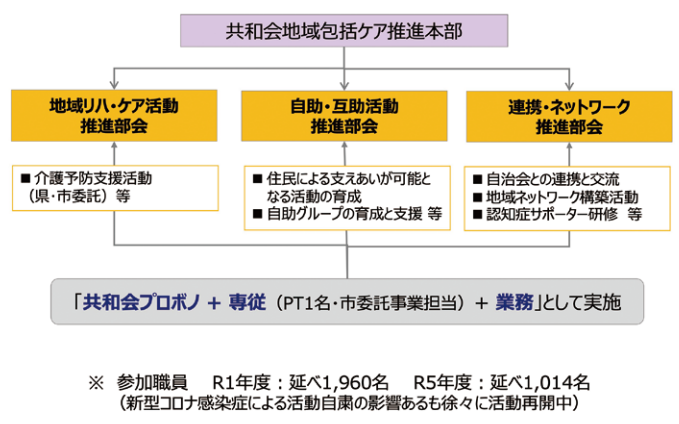
## 1

### 地域のニーズに応える

医療法人共和会は法人創設の当初から、地域に根差した活動を展開してきました。その根底には、地域が必要としていることで、自分たちにできることをやってみようという想いです。例えば、「一人暮らしでしっかりと食事やなかなかできない」との声に対しては職員が勤務後に弁当を配達しながら、高齢者の見守りや声かけを行い、「家の介護が大変。ベッドがあれば」との声には、法人の倉庫に眠っているベッドの貸し出しを行うなど、制度が確立される以前から活動してきました。

この想いは、「南小倉病院」から「小倉リハビリテーション病院」に機能転換後も、変わりなく受け継がれ、2013年にこれまでの活動を総合的、一体的に推進するために「共和会地域包括ケア推進本部」を設置しました。

活動する職員は、プロボノ(自らが持つ専門的知識・スキルを提供して社会貢献する活動)として、自身の休日を活用し参加しています。



## 2

### 各部会の活動

#### ●地域リハ・ケア活動推進部会の活動

福岡県の委託事業として、北九州地区介護予防支援センターの運営や、北九州市の委託事業として、北九州市東部地域リハビリテーション支援センターの運営や短期集中予防型事業の実施、通いの場支援や調整を行っています。



#### ●自助・互助活動推進部会

障害のある方々のその人らしい暮らしの実現に向け、支援を行っています。当事者同士の交流機会として、定例会の開催や施設見学、スポーツ体験の実施、入院中の患者様へのピアサポート調整などに取り組んでいます。



#### ●連携・ネットワーク推進部会

地域の様々な会議や行事へ参加し、各種団体や他施設とのネットワーク構築と啓発活動を行っています。



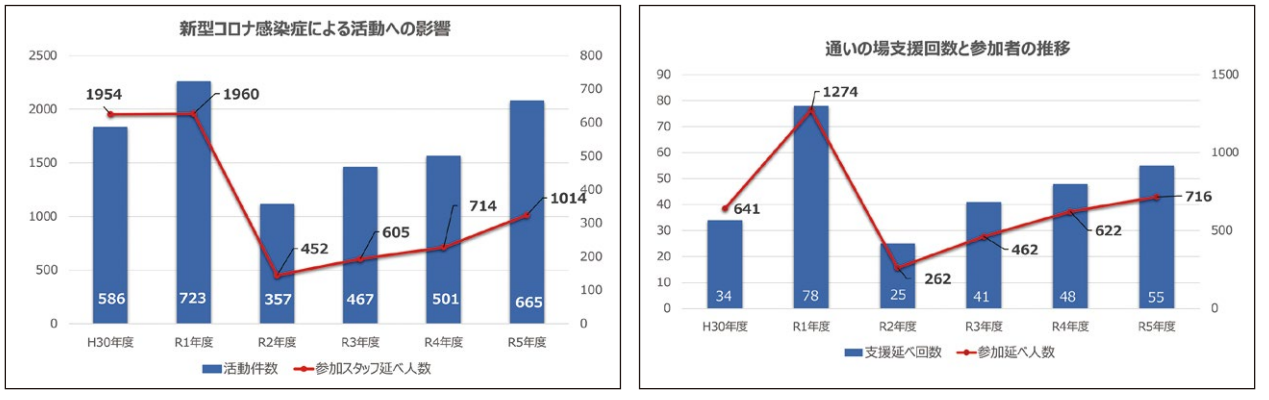
## 3

### 新型コロナ感染症の影響

令和元年度には、延べ2,000名近くの職員が活動していましたが、新型コロナ感染症の拡大により、令和2年度には地域の行事や住民が主体的に実施していた通いの場などの活動が中止となり、私たちの活動にも大きな影響がありました。また、活動を再開するにあたって、感染症対策として参加者数の制限を余儀なくされました。

また、住民の自粛意識も強く、活動機会や行動範囲が減少し、体力低下からプレフレイルやフレイルの状態となり介護保険サービスに移行する方も多くなりました。

昨年からの感染症の分類も5類に移行し、様々な活動が再開されつつあります。私たちも感染対策を十分図りながら、活動を本格的に再開したいと動き始めています。



## 4

### プロボノ活動を行うことの意義

私達が行うプロボノ活動は、こちらからの一方的な社会貢献としての活動ではなく、職員にとっても大きな学びの場となっています。例えば、地域の実情を知ることで、入院・入所中の患者様や入居者様の帰る場所のイメージが具体的にになったり、障害や年を重ねてもその人らしく生活している方と接することで、担当患者様の気持ちをより一層考えるようになったなどです。これらのことは、専門職として医学的なアプローチを行うだけではなく、入院・入所中の方々の、一人の「人」として捉えることにも繋がっています。

## 5

### 今後の活動

令和6年度の診療報酬改定では、回復期リハビリテーション病棟の運営に「地域リハビリテーション活動支援事業等の地域支援事業に地域の医師会などと連携し、参加していることが望ましい」の文言が明記されました。超高齢社会にある我が国においては、介護予防・重度化防止に向けた取り組みは、より重要な課題となります。専門職がその知識や経験を広く地域に還元する取り組みを継続することで、住み慣れた地域でいきいきと、その人らしく暮らせるための支援をこれからも継続して取り組んでいきたいと思っております。

# Pro bono

医療法人共和会 地域リハビリテーション部 副部長  
砂川 尚也(理学療法士)